

第5(環境問題)小委員会報告

2005年1月17日 第5小委員会委員長 泉 浩二

1 得られた情報・活動成果

- 1.1 「自然再生の概念・あり方」に関する情報
- 1.2 自然再生推進法と自然再生事業に関する情報
- 1.3 自然再生関連事業の事例に関する情報
- 1.4 自然再生に関する公開勉強会の開催

2 現時点での課題(関心事)

3 今後の方向性と話題

- 3.1 今後の方向性
- 3.2 話題

1 得られた情報・活動成果

1.1 「自然再生の概念・あり方」に関する情報

- 1) 生物多様性の3つの危機； 種・生態系、 里地・里山、
移入種・化学物質(二次的自然の危機：**人間活動も生物多様性を生み出す自然の一部**)
- 2) 生物多様性の4つの理念； **人間の生存基盤**、 人間生活の安全性、 人間にとっての有用価値、 **文化の根源**
- 3) **何のために自然を守るのか**
他の生命の軽視がヒューマニズムの崩壊へ
自然のために自然を守る

1 得られた情報・活動成果

1.2 自然再生推進法と自然再生事業に関する情報

1) 自然再生; 自然の保全・再生・創出・維持管理 (**開発行為の代償措置ではない**)

2) 自然再生推進法の目的

自然再生 → 生物多様性 → 自然と共生する社会
地球環境の保全

3) 自然再生事業

「自然再生」=「地域再生」(地域を循環型・共生型社会へ)

自然再生目標とその設定手法(合意形成手法)が課題

1 得られた情報・活動成果

1.3 自然再生関連事業の事例に関する情報

1) 尼崎21世紀の森構想

尼崎臨海部での豊かな環境の回復・創造・を基調とした都市再生

2) 都市環境インフラの再生

・首都圏の都市環境インフラのグランドデザイン(首都圏に水と緑と生き物の輪を)

・住民参加による水辺再生(水辺の楽校プロジェクト)

3) 道路事業における猛禽類・動物横断路対策

・ミチゲーシヨン(回避・低減・代償)

営巣環境の保全、個体群分断の解消

1.4 自然再生に関する公開勉強会の開催

環境省生物多様性企画官による講演を実施

2 現時点での課題(関心事)

- 自然の評価手法(経済評価)の整理
- 自然再生の「対象」、「事業種」、「事業段階」、「目標設定」、「合意形成手法」毎の事例の整理
- 特に都市における「自然再生」

3 今後の方向性と話題

3.1 今後の方向性；

「自然再生」に関するコンサルタント技術者としての「素養」、「技術力」の涵養に役立つ情報の整理

3.2 話題

自然(資本)を社会資本の重要な一部として位置付けられないか？